

みんなおいでよ!

ゆる〜く つながる

狛江サークル



企画意図

福祉カレッジで学んで感じたことは、

いろいろな困りごとがある人たちや周囲の人たちは、すでにできる限りの活動をしていること。

でもそれが現時点では狛江市民に知られていないこと。

知ったとしても平日開催や少数予約の会が多かったりと参加するハードルが高いこと。

そこで、みんなが地域でゆる〜くつながって、誰もが参加しやすくなる循環を考えてみました。

共同作業でつながる

同じ人とはばかり集っていると視野が狭くなりがち。できあがっている団体に新たな人は入りにくいというデメリットもあると思います。なので、さまざまな団体と新たな人たちで共同作業ができるサークルを作るのはどうでしょう。例えば

- ・狛江といえば畑。共同畑でみんなで野菜を育てる。
- ・フリーマーケットを目的にリサイクル品を集める。

作業を中心におけば、日本語やコミュニケーションが苦手でも自然と仲良くなれそう。社会とつながり役立つ経験は、自信をなくしている認知症やひきこもりの方の活力になると思います。

参加はできるときだけ。無理しないことでさまざまな状況の人が参加しやすいように。



イベントでつながる

共同作業の成果をイベントで発揮する。

狛江は駅前広場でのイベントや狛江湯のえんがわ市など出店できるチャンスが多いのでは!? そこでフリーマーケットを開いたり、育てた野菜を売ったり、料理にしたり。

共同作業の先に目的があると楽しく継続できるし、活動費を自分たちで稼ぐのは社会人としてのやりがいにつながると考えます。

また、狛江市民に存在を知ってもらい、新たに活動をもににする人につながる大事な場にもなります。



YouTubeでつながる

サークルの活動や狛江の福祉の取り組みを動画にしてYOUTUBEで発信する。

福祉カレッジで「ふらっとなんぶ」などの施設の存在を知って、とても興味を持ちました。でも、実際に訪れるのはハードルが高いと感じます。

認知症カフェに相談に行きたいと思いましたが、平日開催でなかなか時間が合いません。認知症サポーター講座にも興味はあるけれど、講座日が少なすぎてやっぱりハードルが高い。

「知りたいだけ」「興味があるだけ」の人にも情報が届くように、まずは動画で発信して知ってもらう。

その先で、イベントに来てくれたり、サークルに参加してくれる第一歩を目指す。



LINEでつながる

「スケッター」というサイトを知っていますか? すき間時間に介護施設で助っ人してくれる人を募集しているサイトです。空いた時間に1日だけでもボランティアできるので気軽に参加できるのが魅力です。その狛江版を作って、気軽にサークルや狛江市内の施設にお手伝いとして参加してくれる人を増やす。

また、韓国では認知症の方や子どもが行方不明(迷子)になると、ケータイからアラーム警報がなります。その狛江版をLINEで発信することで登録者全員が見守り人になる。

そんな福祉に特化したLINEアカウントを作ることでみんながつながる。イベント参加時の屋台で割引特典をつけたりしながら、登録者を増やしていくのも一案です。



タイトル	ゆる～くつながる粕江サークル
立案者の 思い	顔見知りの人が増えて、困難がある人もそうじゃない人もフラットに関係が結べる街になればいいなと思います。